

予

令和3年度 算

真心こめた
みんなのための
町政を



子育てと高齢者に優しい町

●こども園の給食費は無料に！

保護者の経済的負担を軽減し、子育てを支援するとともに、さらなる教育の充実を図るため、小・中学生の学校給食費の無料化を引き続き実施することに加え、多古町在住の園児の給食費を無料とします。

給食費
ゼロ

●「愛と希望の応援給付金事業」第1子・第2子の出生に対し、10万円を支給！

第3子以降の出生時および小学校入学時、中学校入学・卒業時に、1人当たり総額100万円相当の祝金等を引き続き支給することに加え、令和2年度途中から開始した第1子・第2子の出生に対し、1人当たり10万円の支給を継続して実施します。

●高校生までの医療費が無料！

医療費
ゼロ

子育て世帯のさらなる経済的負担軽減と、児童の健全育成を図るため、0歳から高校生までの医療費の無料化を引き続き実施します。

●多古病児保育所を運営していきます

子どもが病気になった際、保護者が仕事などで保育できない場合に一時的な保育サービスを提供し、安心して子どもを預けられる県内公立病院初の施設として、引き続き運営してまいります。



庭園もある多古病児保育所

●高齢者の皆さんを見守ります

高齢者とのふれあいの機会を持ち、会話の中から心配事やお困りを感じていることを聞き取り、「高齢者住宅用火災報知器設置促進事業」で設置済の警報器の確認や未設置者への新規設置を実施します。

新たな魅力をつくるまち

●今までにない公園の整備

圏央道インターチェンジの整備や成田空港の更なる機能強化を踏まえ、芝山町と連携を図りながら、「空港を下ろす公園」の整備を進めていきます。また、中地区の高台には、四季折々の風景や成田空港を離発着する航空機を併せて眺望できる「見晴らしの丘公園」の整備に着手します。

●観光推進組織を発足します

多古町独自の観光形態を展開し、交流を通じた移住・定住につなげるため、観光の中核組織となる仮称「観光まちづくり機構」をつくり、さらなる町のPRを図っていきます。

●新たなまちづくりを目指す各種計画を策定します

成田空港の更なる機能強化や圏央道の開通予定により社会情勢は大きく変化しています。令和2年度に策定したまちづくりの指針である総合計画などに基づき、各種計画の策定を行います。

●移住・定住の促進を図ります

田園の景観や農業を中心とした自然文化に触れあう体験型観光を実現し、多古町の農泊を中心とした観光プランドを作ります。また、地域おこし協力隊を委嘱し、町PRの強化、移住・定住の促進に努めます。



古民家一棟宿「大三川邸」



安心・快適に暮らせるまち

●新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチン接種を速やかに実施できるよう、感染予防対策、接種予約業務、接種委託業務などを遅滞なく効率的に行います。

●ごみ処理業務は従来どおり実施します

ごみ処理業務が4月から香取広域市町村圏事務組合に移行しましたが、各家庭から出たごみを効率的に回収できるように、ごみステーションの管理など、引き続き分別収集方式を継続し、収集運搬を行ってまいります。



●防犯カメラを設置します

地域の安全対策として、犯罪や事故の未然防止を図るため、引き続き防犯カメラを設置します。また、地区等が設置した防犯カメラの設置費用の3分の2を補助します。

●空港周辺開発に伴う新たな道路整備を実施します

住宅開発や新たな空港関連企業の開発誘致を推進する、開発複合エリアの基幹道路となる鷹ノ巣・二本松線の道路改良事業を実施します。

多古de長生き

子育てだけじゃない！

- 高齢者にも優しい 3つの「0」
- がん検診費用 「0」
- 特定・後期健診費用 「0」
- 歯科健診費用 「0」

多古町では、『健康第一』を考え、高齢者の皆さんの健診事業（がん・特定・後期・歯科）を無料としています。

※町で実施する健診事業のみ費用が無料です。
※事業内容によっては、年齢制限があります。



多古de子育て

- 県内公立病院初！多古病児保育所
- 子育てにやさしい 3つの「0」
 - 待機児童 「0」
 - 高校生まで医療費 「0」
 - 給食費 「0」



- 第3子以降出産・入学等祝金 100万円相当支給
- 第1子・第2子一人あたり 10万円支給

●高齢者の移動を便利に！

車などの移動手段を持たない高齢者の方などの利便性を向上させるため、デマンドタクシーを7月より月々土曜日の週6日（祝日・年始を除く）運行へと拡大します。

